

CoderDojo御茶ノ水

の活動を紹介します



CoderDojoとは

非営利のプログラミングクラブ。

世界中にある。日本には現在200箇所くらい。

子供達が自主的に学び、大人や先輩がサポートするところ。

ルールやマナーを守れば、割と自由。
主催者も参加者も概ね何をしてもいい。

各Dojoごとに方針は様々。雰囲気もそれぞれ。

規約を守り、本部に登録すれば、基本的に誰でもCoderDojoを開くことができる。

御茶ノ水Dojoは...

わりとゆるい？Dojo。

ちびっこも歓迎、ママと一緒に座るのもOK。

特に初参加の子や保護者に対しては
敷居をなるべく下げよう心がけてる。

まずは体験してもらい、興味が湧いたら、
「お家でもやってみて！」「また次回もおいで！」という感じ。

発表は「やろうよ！」となるべくみんな誘う。でも強制はしない。

せっかく来た子が「つまない...」で終わってしまったら勿体無いと思うので
時間中は何かしら興味を持って取り組めるようアドバイスする。

スポンサー様 TAM

御茶ノ水Dojoの主催者は私(渡辺朋子)、
TAMはスポンサーという位置付け。

CoderDojoを始めるにあたり、みんな苦勞してるのは
開催場所の確保、インターネット環境の整備、あとお金だときく。

多くのDojoが参加者からの寄付金でやりくりしているときく。

御茶ノ水Dojoは、これらをTAMが提供してくれるので
そこは助かる。

毎月の開催日など

毎月1回、土曜日の午前に開催。
プログラミング1時間45分。発表タイム30分。

ニンジャ(参加する子供達)募集は8~12人くらい。
メンター(サポートする大人)は5人くらい。

DoorkeeperとFacebookでイベント告知。
わりと人気👌 わりとすぐ満席になる。今のところ、早いもの順。

こんなことをしてます

メインはビジュアルプログラミング。初心者はこちら。

→ Scratch、Viscuit

マイコン、電子工作系も人気。

→ micro:bit、HaloCode、ラズパイ

高学年になると、コードを書く子もいる。

→ Unity(C#)、Swift、Python

リクエストがあればWebも教える(HTML、CSS、JS)。

Photoshop、Illustrator、パワポで絵や図を描く子もいる。

マイクラも人気、最近希望が多い。

その日何をやるかは、なるべく自分で考えてもらえ

メンターの役割

CoderDojoは塾ではないので、決まった課題や授業はない。

メンターは先生ではなく、積極的に教えに行くことはしない。
ニンジャから助言を求められた時に一緒に考えるのが主な役割。

ニンジャはだいたい次の3つに分かれるので、
あらかじめ大まかな分担を決めておく。

- 初参加ニンジャ:Scratchのレクチャーをする。
- 2回目ニンジャ:前回の感想を聞いたり、今日何するか決めてる？と相談に乗ったり。
- 常連ニンジャ:もくもくと作業。分かんなかったら聞いてね。という感じ。

参加ニンジャはこんな子たち

年齢は5～12歳くらい。常連さんと初参加の子が半々くらい。

兄弟参加もわりと多くて、未就学児もくる。

(制限を設けるDojoもあるが、御茶ノ水はスペースにも余裕があるのでWelcome！)

レベルはみんなバラバラ。

プログラミング初めての子、経験のある子、PCが普通に使える子、マウスも使えない子、大人顔負けバリバリのゲームを作る子、絵がめっちゃうまい子、恥ずかしがりの子、ずーっと喋ってる子。等々。

参加のきっかけは、だいたい保護者。

保護者がエンジニアで、子供にもやらせたいと思ってるパターン。

保護者がPCが苦手だから、外で教わらせたいと思ってるパターン。

来年度からのプログラミング教育必修化もあり、保護者も情報収集しに来てる印象。

ここがDojoのいいところ(多分)

ニンジャは、全員がコードを書くエンジニアを目指して勉強しに来てるわけじゃない。

保護者も多分それは期待してない。

(お試しだったり、無料の習い事のつもりだったり?)

Dojoに来ると

「何を作るか自分で決める」

「その手段を自分で考えて段取りして形にする」

「自分の言葉で発表する」

という体験ができる。

よく言われる「プログラミング的思考」は身に付くと思う。

あと、みんな発表がどんどん上手くなっていく。

メンターはこんな人たち

現在レギュラーメンバー5人。
不定期参加の方を合わせると10人くらい。

ほぼ全員がTAM外部の方たち。
Dojo関連イベントで知り合ったり、「検索して知った！」とメールをくれたり、人から紹介してもらったり、で少しずつ増えたいった。

職種は様々。デザイナー、エンジニア、技術系出版社の方。
他のDojoから手伝いに来てくださる方。
新卒男子からおじさままで。お子さん同伴参加のパパ or ママも。

参加動機もそれぞれ。プログラミングや電子工作が好きな人、
子供が好きな人、教えることが好きな人、集まってワイワイしたい人??

運営の仕事

やることはそこそこある。

- 開催日時決めと場所の確保
- 告知、募集と応募者管理
- 参加メンター確保や分担調整
- ニンジャや保護者、メンター希望者からの問い合わせ対応
- 当日進行(主に時間の管理)
- お金(寄付金)の管理
- 備品の管理
- 本部とのやり取り(たまに)

など。

大変なこと(自分の場合)

続けていくことがまず大変。

社内メンバーが自分1人なのは、わりとプレッシャー。
特にコワキの鍵開け。当日寝坊とか、インフルなったとかダメ。

運營業務に加えて、メンターの1人でもあるので
事前勉強もしないといけない。
最初の頃はいつもパンクしてたが、人に任せていくことが大事と反省。
メンター人数に余裕があるときは、運営に専念したり。

メンターとしてのスキルアップは常に必要と感じる。
仕事と同じ。日々新しいことが増えてくる。
他のメンターの方々に勉強してもらうことも大事と思う。(強制はできないけど)

Dojoをやる理由（自分の場合）

わからない。正直しんどい。
本当は土曜日ゆっくり寝たい。

楽しいかと聞かれたら、「多分楽しい」。

自分も子供がいるから、子供と関わる何かをしたかった。

一応ずっとエンジニアをやっているのでも、それも活かせるかも？
自分の方向性なり視野を広げたり？

他のDojoには、プログラミング教育やCoderDojoに、
ものすごく情熱(?)を注いでいる人もいます。自分はそのまではできないけど。
同じ活動をする人たちと話すのが楽しいし、良い刺激になる。

来年の目標

また1年、続ける。

娘ともっと参加したい。

「ゆるく」は変わらないけど、メンターもニンジャも
少しずつレベルアップを目指していきたい。

また1年やると決めたので、
しっかりモチベーションを維持してやっていきます！